

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月10日
【四半期会計期間】	第7期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社グリムス
【英訳名】	gremz, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 政臣
【本店の所在の場所】	東京都品川区東五反田五丁目23番7号
【電話番号】	(03) 5795-1855
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東五反田五丁目23番7号
【電話番号】	(03) 5795-1855
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第7期 第1四半期連結 累計期間
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日
売上高(千円)	1,082,441
経常利益(千円)	171,178
四半期純利益(千円)	97,479
四半期包括利益(千円)	97,155
純資産額(千円)	1,283,124
総資産額(千円)	2,044,374
1株当たり四半期純利益金額 (円)	57.70
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額(円)	55.67
自己資本比率(%)	62.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	225,498
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	41,284
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	262,773
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,205,032

- (注) 1. 前事業年度まで連結財務諸表を作成していないため、第6期第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については記載しておりません。
2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社は、平成23年4月1日付で新設分割の方式の会社分割を実施し、持株会社制へ移行いたしました。当社の営むグリーンハウスプロジェクト事業及びエコロジーソリューション事業を「株式会社グリムスソーラー」に、エネルギーコストソリューション事業を「株式会社GRコンサルティング」に、それぞれ承継いたしました。それに伴い、エコロジーソリューション事業をグリーンハウスプロジェクト事業へ統合しております。

また、平成23年6月1日付で「株式会社グリムスプレミアムウォーター」を新たに設立し、ウォーターサーバー事業に進出いたしました。事業は平成23年7月1日より開始するため、当第1四半期連結累計期間においてはその他事業としております。

これに伴い、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社及び子会社3社となりました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の緩やかな回復などを背景に景気の持ち直しの動きがみられましたが、東日本大震災の影響による生産の低下、電力供給の制約による企業活動の鈍化、円高の影響など、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような経済状況の中、当社グループは、平成23年4月に会社分割を行い持株会社制へ移行し、各事業会社への権限委譲による機動的な組織運営を行い、業績拡大への布石といたしました。また、平成23年7月よりウォーターサーバー事業を開始するため、平成23年6月に合弁会社株式会社グリムスプレミアムウォーターを設立しております。当社グループは、「すべての人に感動と喜びを」を企業理念とし、また「豊かで安心して暮らせる社会の構築」という中期経営計画のビジョンのもと、新たな気持ちで各事業を推進してまいりました。

以上の結果、業績は順調に推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,082百万円、営業利益170百万円、経常利益171百万円、四半期純利益97百万円となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。なお、ウォーターサーバー事業につきましては、第2四半期からの事業開始となるため、記載しておりません。

#### 〔グリーンハウスプロジェクト事業〕

株式会社グリムスソーラーは、住宅用太陽光発電システムの店舗販売を行うグリーンハウスプロジェクト事業を行っております。グリーンハウスプロジェクト事業については、店舗や催事による住宅用太陽光発電システムの販売を行い、売上高は383百万円となりました。第1四半期は新卒社員の育成の期間であるため売上高に対する人件費の比率は相対的に高く、営業損失は17百万円となりました。

#### 〔エネルギーコストソリューション事業〕

株式会社GRコンサルティングは、電力基本料金削減コンサルティングを行うエネルギーコストソリューション事業を行っております。エネルギーコストソリューション事業については、東日本大震災の直後に滞っていた営業活動が回復したことにより、売上高は698百万円、営業利益は290百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,205百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は225百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上171百万円、売上債権の減少53百万円、仕入債務の増加57百万円による資金の増加、及び法人税等の支払79百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は41百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出11百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は262百万円となりました。これは、主に、短期借入れによる収入200百万円、長期借入れによる収入100百万円による資金の増加、及び配当金の支払額43百万円による資金の減少によるものであります。

当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	1,742,100	1,742,100	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準の株式
計	1,724,100	1,742,100	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成23年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日 (注)	7,600	1,742,100	1,530	386,975		126,293

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 50,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,684,100	16,841	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準の株式
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	1,734,500		
総株主の議決権		16,841	

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社グリムス	東京都品川区東五反田 五丁目23番7号	50,000		50,000	2.88
計		50,000		50,000	2.88

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は50,000株、その発行済株式総数に対する所有割合は2.87%であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

また、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）は、連結財務諸表作成初年度であるため、前連結会計年度末に係る四半期連結貸借対照表、前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書との対比は行っておりません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第6期事業年度 有限責任監査法人トーマツ

第7期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 有限責任 あずさ監査法人



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成23年6月30日)

<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,205,032
売掛金	263,558
商品	70,675
前払費用	36,608
繰延税金資産	54,964
その他	9,918
流動資産合計	1,640,757
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	63,958
車両運搬具（純額）	3,441
工具、器具及び備品（純額）	44,272
有形固定資産合計	111,673
無形固定資産	
ソフトウェア	112,759
無形固定資産合計	112,759
投資その他の資産	
敷金及び保証金	173,257
その他	5,925
投資その他の資産合計	179,183
固定資産合計	403,616
資産合計	2,044,374
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	207,013
短期借入金	200,000
1年内返済予定の長期借入金	33,200
未払金	160,400
未払費用	6,569
未払法人税等	40,859
未払消費税等	14,807
預り金	16,900
その他	313
流動負債合計	680,064
固定負債	
長期借入金	66,800
資産除去債務	14,368
その他	17
固定負債合計	81,185
負債合計	761,250

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成23年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	386,975
資本剰余金	126,293
利益剰余金	812,329
自己株式	47,149
株主資本合計	1,278,448
少数株主持分	4,676
純資産合計	1,283,124
負債純資産合計	2,044,374

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	1,082,441
売上原価	401,617
売上総利益	680,823
販売費及び一般管理費	510,715
営業利益	170,108
営業外収益	
受取利息	144
受取手数料	919
広告収入	342
その他	108
営業外収益合計	1,515
営業外費用	
支払利息	445
営業外費用合計	445
経常利益	171,178
税金等調整前四半期純利益	171,178
法人税、住民税及び事業税	40,451
法人税等調整額	33,570
法人税等合計	74,022
少数株主損益調整前四半期純利益	97,155
少数株主損失 ( )	323
四半期純利益	97,479

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,155
四半期包括利益	97,155
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	97,479
少数株主に係る四半期包括利益	323

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	171,178
減価償却費	11,026
長期前払費用償却額	147
受取利息	144
支払利息	445
売上債権の増減額(は増加)	53,375
たな卸資産の増減額(は増加)	3,960
その他の流動資産の増減額(は増加)	3,376
仕入債務の増減額(は減少)	57,148
未払金の増減額(は減少)	2,160
未払消費税等の増減額(は減少)	12,714
その他の流動負債の増減額(は減少)	4,822
その他	3
小計	305,541
利息の受取額	42
利息の支払額	810
法人税等の支払額	79,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,498
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	24,792
無形固定資産の取得による支出	11,628
敷金及び保証金の差入による支出	5,274
敷金及び保証金の回収による収入	449
貸付金の回収による収入	358
その他	396
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,284
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	200,000
長期借入れによる収入	100,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,530
配当金の支払額	43,756
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	262,773
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	446,987
現金及び現金同等物の期首残高	758,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,205,032

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結累計期間において、平成23年4月1日付で持株会社制へ移行いたしました。新設分割の方式の会社分割を実施し、株式会社グリムソーラー、株式会社GRコンサルティングの2社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、平成23年6月1日付でプレミアムウォーター株式会社と合弁会社株式会社グリムスプレミアムウォーターを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
役員報酬、給与賃金及び諸手当	289,277千円
法定福利費	35,394千円
旅費交通費	28,114千円
通信費	16,006千円
地代家賃	37,998千円
求人費	20,923千円
減価償却費	11,026千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
現金及び預金勘定	1,205,032千円
現金及び現金同等物	1,205,032千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	50,535	30	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	グリーンハウスプロジェクト事業	エネルギーコストソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	383,667	698,773	1,082,441		1,082,441
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	383,667	698,773	1,082,441		1,082,441
セグメント利益又は損失( )	17,064	290,315	273,251	3,223	270,027

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第1四半期累計期間に新たに開始したウォーターサーバー事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,251
「その他」の区分の利益	3,223
全社費用(注)	99,919
四半期連結損益計算書の営業利益	170,108

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(金融商品関係)

前事業年度の末日に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。



(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(共通支配下の取引等)

当社は、平成23年2月10日開催の取締役会の決議及び平成23年3月11日開催の臨時株主総会の承認に基づき、平成23年4月1日付で新設分割の方式の会社分割を実施し、持株会社制へ移行いたしました。また、同日付で商号を株式会社ユビキタスエナジーから株式会社グリムスへ変更いたしました。

会社分割の概要は以下のとおりであります。

持株会社体制に伴う会社分割(株式会社グリムスソーラー)

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 グリーンハウスプロジェクト事業及びエコロジーソリューション事業

事業の内容 大型商業施設内での店舗運営等による住宅用太陽光発電システム及びエコキュート等の販売

(2) 企業結合日

平成23年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社、新たに設立した当社100%出資の株式会社グリムスソーラー(当社の連結子会社)を分割承継会社とする分割型新設分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社グリムスソーラー(当社の連結子会社)

(5) その他取引の概要に関する事項

一般家庭向けに太陽光発電システムやエコキュート等の販売を行う事業を株式会社グリムスソーラーに集約させることで、機動的な組織運営や、迅速な経営戦略の立案と実行を可能とし、収益力の強化を図ることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

持株会社体制に伴う会社分割(株式会社GRコンサルティング)

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 エネルギーコストソリューション事業

事業の内容 事業者を対象とした電力コスト削減コンサルティング及び電子ブレーカーの販売

(2) 企業結合日

平成23年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社、新たに設立した当社100%出資の株式会社GRコンサルティング(当社の連結子会社)を分割承継会社とする分割型新設分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社GRコンサルティング(当社の連結子会社)

(5) その他取引の概要に関する事項

事業者向けに、電力コストの削減コンサルティングを行う事業を株式会社GRコンサルティングに集約させることで、機動的な組織運営や、迅速な経営戦略の立案と実行を可能とし、収益力の強化を図ることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	57円70銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	97,479
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	97,479
普通株式の期中平均株式数(株)	1,689,530
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	55円67銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	61,501
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 9日

株式会社 グリムス  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	都甲 孝一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	若尾 慎一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木下 洋

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリムスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

**四半期連結財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

**監査人の結論**

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリムス及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

**利害関係**

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。